

環境まちづくり 会報

題字／福田博子

編集・発行／入間市環境まちづくり会議

持続可能な社会を目指して

「いるま環境フェア」を開催

会長 石本 勝彦

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から早1年が経過しました。今なお、避難生活をされている人たちの心情を察すると一日も

早い平穏な暮らしに戻れるよう切に願っております。そのためにも政治のリーダーシップを期待するものです。

福島原発の放射性物質による汚染の影響は規模の大きさ・期間の長さ、そして絶対安全ということはないと再認識しました。是を機に原子力発電所の必要性の是非が問われており、それに代わる環境にやさしいエネルギーが求められています。野田総理は昨年12月16日に事故収束を宣言しました。本当に収束しているのか、事故発生以降の政府の発表を聞いていますと疑問を感じます。持続可能な社会を目指すためにも、これからのエネ

ルギー政策はどうあるべきなのか、地球温暖化対策と連動した国民的議論を展開して明確に道標を示すことが必要であると考えます。

私たちの生活も資源を無駄にしない（もったいない）という意識改革、今より不便になっても後世の人たちへ安全な環境を残していくというライフスタイルの転換が求められています。

昨年まで丸広百貨店入間店で開催していた環境展を、今年の実行委員会を立ち上げて平成24年6月17日(日)産業文化センターで「第1回いるま環境フェア」として開催します。市民、企業、団体、行政の皆さんが一同に介して、環境活動の取り組みを広く市民に紹介します。丸広では限られたスペースの関係で展示だけでしたが、産業文

化センターでは講演をはじめ、子どもも楽しめる体験コーナーや模擬店などを用意する予定です。ご家族で来場して楽しんでいただければと思っています。入間市環境まちづくり会議は「第1回いるま環境フェア」の開催に中心的な立場で取り組んでいます。会員の皆さまにも、ご来場いただきませうように、また当日の運営のお手伝いも募集していますのでご協力をお願いします。

第1回 いるま環境フェア

開催日：平成24年6月17日(日)
時間：午前10時～午後4時

会場 産業文化センター



いるま環境フェア

に向けて

これまで丸広百貨店入間店のロビーで実施されてきた環境展を発展させ、多くの団体が参加できる環境フェアを実施して行こうという機運が高まり、平成23年9月17日(土)に市民活動センターで開催した環境団体交流会で、実行委員会形式で環境フェアを実施することが決まりました。これを受けて、実



行委員会第1回が11月5日(土)、第2回が12月14日(水)、第3回が平成24年2月6日(月)に開かれ、平成24年度「第1回いるま環境フェア」の内容がほぼ固まりました。今後、出展者の応募も踏まえて、第4回、第5回の実行委員会でさらに詳細を詰めていく予定となっています。

啓発運動への

取り組み

市内では、9月にポイ捨てゼロ推進運動(衛生自治会主催)、10月にごみ減量・マイバッグ推進キャンペーン(総合クリーンセンター主催)、11月に路上喫煙防止啓発キャンペーン(近隣4市主催)が行われています。

ポイ捨てゼロ推進運動では、市内全駅前でマイバッグを配布。ごみ減量・マイバッグ推進キャンペーンでは、固形石鹸、ティッシュ等をスー

パーアルプスで配布しました。路上喫煙防止啓発キャンペーンでは、所沢市、狭山市、飯能市と同日同時時間帯に各市各駅で啓発用ティッシュを配布しました。



これらの取り組みに入門市環境まちづくり会議の運営委員が参加して、市民の環境意識の向上に努めるとともに、環境活動への理解を深めることができました。また、参加している様々な環境団体と一緒に活動することで、自分たちが環境に対して感じているものとは違う意識

の違いも感じることもできたと思います。市内で多くの環境活動がそれぞれ分野で活動していることは、他の環境団体への力や支えとなつていきます。入間市の環境が、より一層改善できるよう、

今後も他団体の主催する環境運動に積極的に参加できるように努めていきます。

運営委員になって・・・

PTAのつながりで昨年より環境まちづくり会議の一員に加わりましたが、永年にわたり地域環境の向上に貢献されている多くの方々の姿に感動しています。

「継続は力なり」との言葉のとおり、ごみひろい隊の毎月の活動をはじめ、各種見学会の開催等、環境活動を地道に啓発し続けることの大切さを痛感する昨今です。

昨年の東日本大震災を通じて、自然や環境に対する意識が、より深まってきているように思います。私の住む西武地区では、毎年7月下旬に「入間川クリーン大作戦」として、西武公民館を中心とする入間川周辺の清掃活動を小・中学校4校の生徒たちと共に行っていますが、ゴミの量は毎年少なくなってきました。市や地域、学校での地道な環境教育や活動がひとつひとつ実を結んできているものと確信します。

今後ともボランティアの精神で、地域のため環境のために、自分ができることに挑戦していきたいと思います。(亀井正男 記)



原発は今後どうあるべきですか？

あるべきですか？

地球温暖化防止部会では、第17回生涯学習フェスティバルで原発についてのアンケートを集計しました。



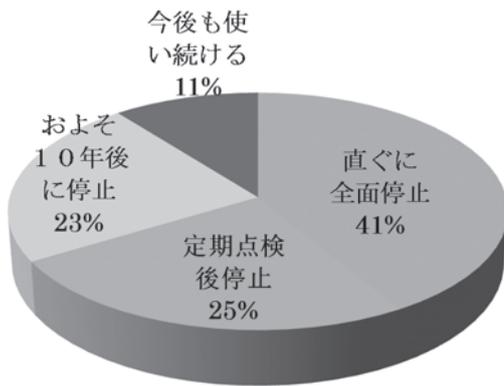
アンケートは全体で104件、様々な意見が寄せられました。「直ぐに全面停止」「定期点検後再稼働しない」を合計すると66%が原発の停止を訴えているという結果になりました。

若い女性ほど、特に子どもがいる母親は「直ぐに全面停

止」に投票していました。

これは、ニュースなどで放射性物質の恐ろしきについて危機感を持っているからではないでしょうか。

一方「およそ10年後に停止」に投票した女性は、一人もいませんでした。男性はしばらく考えて、あるいは他の人の意見を参考にして投票した人が多くみられました。また、ある大学生では、どれにも投票しない方もいました。



詳細は「入間市環境まちづくり会議」ホームページをご覧ください。(本多進 記)

みんなの「ごみ部会」

から報告

みんなのごみ部会は、毎月の定例会、毎月のごみひろい隊の活動、クリーンセンターとの打ち合わせ、環境展参加、生涯学習フェスティバル参加、ごみ処理施設見学会など、いろいろなことをしています。

しかし、ここ数年ほぼ同じ事の繰り返しが多く、部会発足時の目標であった生ごみの堆肥化については、手を出せない状態が続いています。

そんな中で、唯一活発な活動をしているのが本多隊長率いる「ごみひろい隊」です。派手なピンクのジャンパー（夏はTシャツ）とピンクの帽子で、街のごみを拾う姿は、多くの方に知られる存在です。



12月の市報で市民への参加の呼び掛けをした結果、新しいメンバーも加入しました。毎回平均して20名を超えている参加者がいて、この活動を

楽しみにしている人も多いようです。(釘持和夫 記)

「ごみひろい隊」の募集

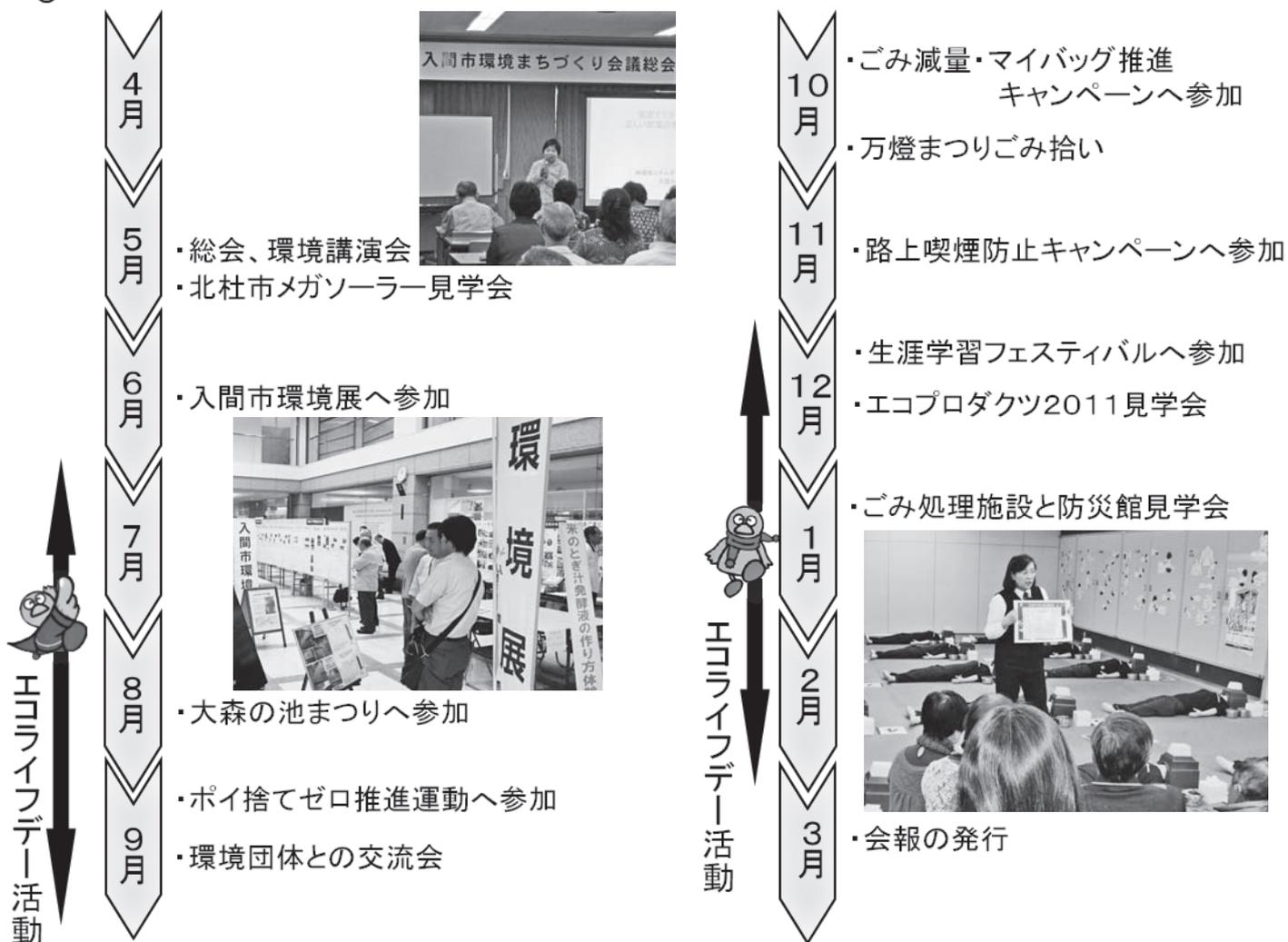
一緒に入間市を「ごみのないまち」にしませんか？

持ち物は、軍手、トンク等。当日は、汚れても良い服装でお越しく下さい。お問い合わせは、本多☎2962・9754まで。

とき	コース	集合時間は午前9時50分(雨天中止)
①4月8日(日)	豊岡コース	市役所駐車場→しまむら→入間市駅→
③6月10日(日)		丸広百貨店入間店→サイオス→市役所 (約2時間)
②5月13日(日)	藤沢コース	ダイワハウス駐車場(武蔵藤沢駅東口)
④7月8日(日)		→藤沢陸橋→熊野神社北→しまむら→グリーンガーデン (約2時間)

④の集合時間は、午前8時50分です。(夏タイム)

平成23年度入間市環境まちづくり会議年間行事



入間市環境まちづくり会議の活動コメント

入間市環境まちづくり会議では、概ね月1回、運営委員会を開催して、市内の環境活動事業について検討しています。環境美化については、毎月市内の清掃活動等の取り組みをしています。また、他団体等主催の環境事業についても、積極的に参加しています。

見学会については、年3回開催し、省エネ・省資源の施設等の見学をしています。

毎回、環境意識の高い参加者が多い中、内容について高い評価を受けています。会員の皆さま、ふるってご参加ください。

エコライフデーについては、ゴーヤの種による「緑のカーテン大作戦」や埼玉県との取り組みである、エコライフデー活動を推進しています。平成23年度の夏の取組結果で入間市は、県内8位となりました。

入間市環境まちづくり会議

事務局：入間市役所環境経済部環境課
住所：〒358-8511 入間市豊岡1丁目16番1号

TEL：04-2964-1111(内線3221,3226)
FAX：04-2965-0232
E-mail：ir210100@city.iruma.lg.jp

